

## 編集後記

『丸山眞男記念比較思想研究センター報告』第十四号をお届けいたします。刊行にあたっては、関係各位に多大なお力添えをいただきました。深く感謝申し上げます。

今号の内容は、本センターの二〇一八年一月から二月までの活動報告が中心になっています。

本センターの活動報告として、巻頭に丸山文庫所蔵資料の整理・公開状況を収録いたしました。今年度もインターネット公開資料を中心に多くのご利用をいただきました。

二〇一八年度の丸山文庫記念講演会は、憲法学の樋口陽一先生（東京大学名誉教授）に、「リベラル・デモクラシーの現在——その中で日本国憲法を「保守」する意味」というテーマでお話いただきました。リベラル、デモクラシーそれぞれの観念の近年における世界的な傾向から憲法問題について論じるという極めてアクチュアルな内容で、フロアからも熱心な質問が寄せられました。樋口先生に厚く御礼申し上げます。

そのほかに、公開研究会と公開授業の記録を収録いたしました。公開研究会では『丸山眞男講義録』別冊一、二（東京大学出版会、二〇一七年）の合評会を行いました。当日、司会を務めていただいた渡辺浩先生（丸山文庫顧問・東京大学名誉教授）に五名の登壇者の報告内容の要点をまとめていただきました。また、都築勉先生（信州大学名誉教授）、前田勉先生（愛知教育大学教授）にご報告のフルペーパーをご寄稿いただきました。どち

らも非常に濃密かつ刺激的なご論稿になっております。公開授業の共通科目「比較思想」は、犬塚元先生（法政大学教授）に「西洋政治思想史におけるユートピア論の系譜」という題目でご担当いただきました。学外の一般受講者にも大変好評でした。

丸山眞男関係未発表資料翻刻として、「南原繁書簡 丸山眞男宛二二点」と「戦中丸山眞男・小山忠恕書簡 往復二二点」を掲載しました。丸山研究のみならず戦中戦後の精神史研究にとつても有用な資料かと存じます。

また今号より、丸山文庫所蔵資料調査報告として、丸山眞男に関して論じた研究論文・文献を網羅的に調査し、年表形式にまとめた記事を連載いたします。これにより戦後日本思想史研究の発展に少しでも資するところがありましたら幸いです。

今号はさらに特別寄稿といたしまして、以前丸山文庫顧問もつとめられました大隅和雄先生（本学名誉教授）へのヒアリング内容を掲載いたしました。戦中戦後の社会やアカデミズムの様子を伝える貴重な内容となっております。

本センターは今後もさまざまな形で丸山眞男研究、ひいては戦後思想史研究の発展に貢献できるよう、努めてまいります。皆様のご理解・ご支援のほど、なにとぞお願い申し上げます。

丸山眞男記念比較思想研究センター長 和田博文

東京女子大学比較文化研究所附置

丸山眞男記念比較思想研究センター報告 第十四号

二〇一九年三月二二日発行

編集 和田博文

発行 東京女子大学

〒167-8585 東京都杉並区善福寺二一六一

電話・〇三―五三八二―六八一七

FAX・〇三―五三八二―六二二〇

marubun@lab.twc.u.ac.jp

<http://office.twc.u.ac.jp/univ/research/institute/maruyama-center/>

印刷 (株)丸井工文社